

正しくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずよくお読みください。
また、お読みになったあとは、大切に保管してください。

1 回線用コンデンサ + 抵抗付断線片 (一括抜去タイプ)

(1 L - C R ツキダンセンヘン イッカツバッキョタイプ)

取扱説明書

東京通信機工業株式会社

安全にお使いいただくため

取扱説明書には、誤った取り扱いをした場合に予想される事故の大きさによって3段階の注意事項を表示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、軽度または中程度の損害を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、本品の本来の性能を発揮できない場合や、機能停止を招く内容を示しています。



本品を水に入れたり、ぬらしたりしないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。
本品に水がかかるようなところでの使用、保管はおやめください。
本品を分解したり、改造したりしないでください。感電の原因となります。



湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のアたる場所、暖房器具のそばや直射日光のアたる場所に置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
窓を閉めきった自動車内等、室温が高くなるところに放置しないでください。火災や故障の原因となることがあります。



落とす等の強い衝撃を与えないでください。
ベンジン、シンナー等の化学薬品でふかないでください。

1. 1回線用コンデンサ+抵抗付断線片（一括抜去タイプ） について

・1回線用コンデンサ+抵抗付断線片 一括抜去タイプ（以下、1L-CR）は、二重ジャンパ布設時に新側交換機を現用回線から切り離すために40号「」保安器に挿入し使用します。

・1L-CRを使用するときは、二重ジャンパ布設時に発生する雑音を抑止する為、アース接続用クリップ（別売）によりアース接続してください。

・二重ジャンパ自動試験装置「8」では、1L-CRを使用した二重ジャンパ検証に対応しています。

・40号「」保安器から1L-CRを取り外す際は、90CR外し工具（別売）を用いた取り外しに対応しています。

・1L-CRの外観図、回路図を図-1に示します。

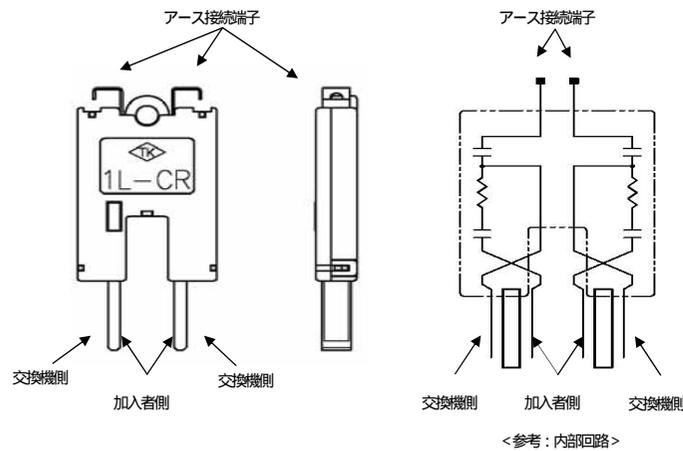
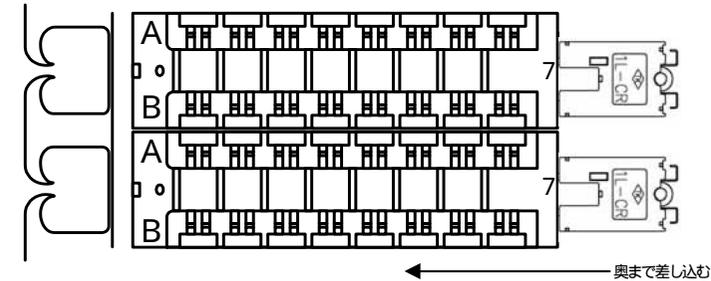


図 - 1

2. 1L-CRの取付方法

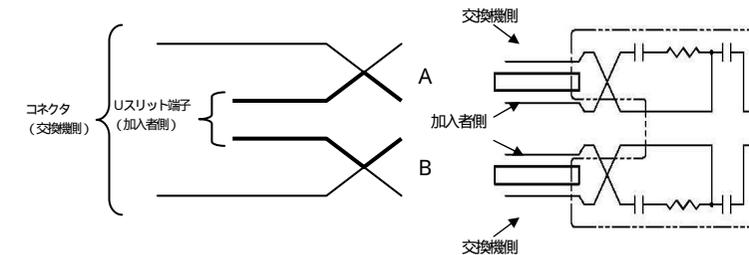
・MDFに実装されている40号「」保安器前面のUスリット端子において、加入者側の線を接続している場合、1L-CRを図-2に示すようにTS部に差し込んで下さい。

⚠️ 注意 1L-CRは極性がありませんので、差し込む方向はおもて、裏どちらでもかまいません。斜め挿入や中途挿入にならないよう確実に奥まで挿入してください。



40-「」ARR Uスリット端子前面

図 - 2



<参考：TS部回路>

3. アース接続用クリップの取付方法

アース接続用クリップは1本で最大8個の1L-CRを接続できるようになっています。アース接続用クリップを図-3に示します。

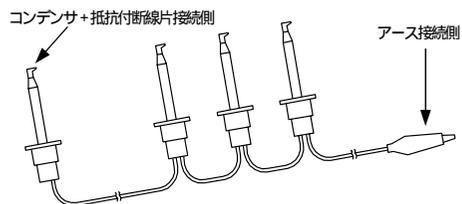


図-3

- ・アース接続用クリップは、図-4に示す接続箇所(アース接続端子)の両側に取り付けてください。(アース接続用端子相互間をあらかじめジャンパ線等でまとめて接続することにより、1つのアースクリップでより多くの1L-CRをアース接続することができます。)

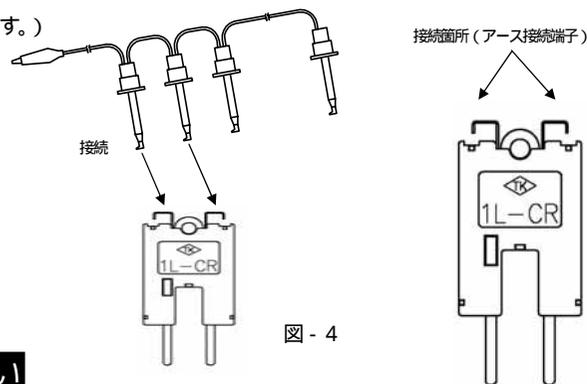


図-4

お願い

- ・アース接続するには、40号「」保安器のフレームに直接接続したり、アース接続用クリップをマルチにつなぎMDFのフレーム等にジャンパ線を使い接続したり等、いくつかの方法があります。いずれの方法をとるにしてもジャンパ線の本数を増やす等の工夫をして確実にアースに接続してください。
- ・アース接続用クリップを取り付ける際は、断線片が保安器から外れないようにしてください。

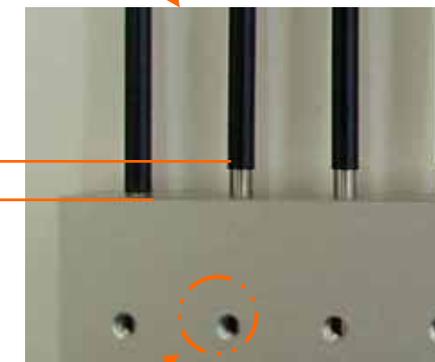
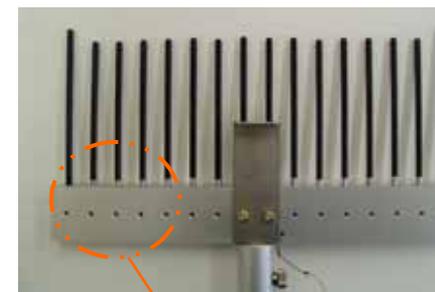
4. 90CR一括外し工具による抜去作業手順

90CR一括外し工具の改造

1) ピンの延伸

両端を除くピン(14本)を、六角レンチ(サイズ: 1.5)にてねじを緩めて5mm伸ばします。

- お願い** ピンに曲がりや変形、被覆チューブの破損等があると1L-CRに挿入できない場合がありますのでご確認ください。
なお修理等については弊社 開発・販売推進部までお問い合わせ願います。



ピンを5mm延伸

六角レンチにて
ねじを緩めます

2) 奥差し防止金具の交換

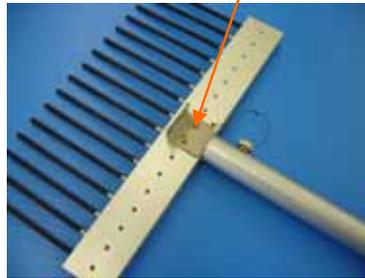
40CR用の金具を外して、1L-CR用の金具を取り付けます。

お願い

奥差し防止金具は1L-CR用に交換せずに40CR用のものを外しただけでも作業は可能ですが、作業性から1L-CR用への交換をお勧めします。

六角レンチと1L-CR用奥差し防止金具は弊社で準備しておりますので、弊社 開発・販売推進部までお問い合わせ願います。

1L-CR用
奥差し防止金具



5. 工具を用いた一括外し作業

1) 40号保安器に装着されている1L-CRに取り外し後、散乱ないようにヒモを通します。

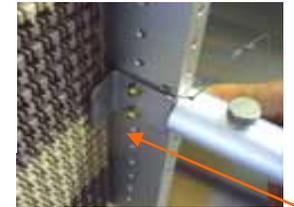
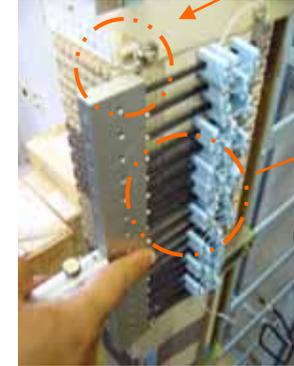
注意 ヒモの片端は落下防止のため、MDF等の適切な箇所に結んでください。

散乱防止用ヒモ



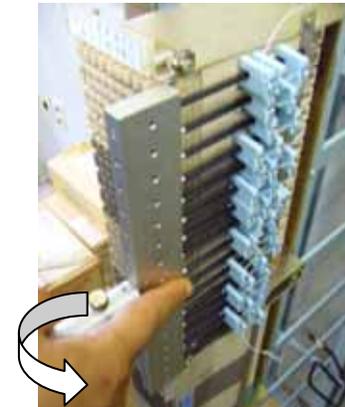
2) 1L-CRに工具を通します。

注意 工具ボディの上下が40号保安器の示名条片と接触しないように差し込んでください。

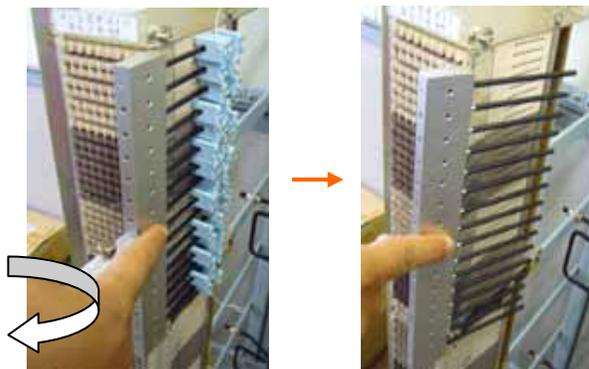


奥差し防止
金具部の状態

3) ハンドルを右側に軽く廻して、CRの手前側を一旦浮かします。



4) 次にハンドルを左側に強く廻して、CRの奥側を浮かし取り外します。



40号から外れた
1L-CR

本品に関するお問い合わせ

東京通信機工業株式会社

本社：開発営業グループ 〒108-0074 東京都港区高輪3-8-13

TEL：03(3447)2421(代)

FAX：03(3447)0426

E-Mail：sales@totsuki.co.jp

電話受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

お電話でのお問い合わせは、内容により即答できかねる場合がありますので、速やかな問題解決の為、事前にお問い合わせ内容をFAXにてお送りください。

1回線用コンデンサ+抵抗付断線片
(一括抜きタイプ)
取扱説明書(CM28-6011)
平成25年 7月 2版発行



東京通信機工業株式会社

東京都港区高輪3-8-13

TEL:03(3447)2421(代)

<http://www.totsuki.co.jp/>

FAX:03(3447)0426